

悠久の森ランニング大会 開催



大自然を駆け巡るランナーの皆さん

8月21日、「第1回悠久の森ランニング大会」が開催されました。当日は市内外から504人のランナーが集まり、大自然の中にある遊歩道を駆け巡りました。目標タイムを目指して懸命に走る選手や、思い思いに自分のペースで走る選手、友人と楽しみながら走る選手に沿道からは温かい声援が贈られていました。

参加者は「大自然の中を走るのは気持ちよかったです。沿道での龍虎太鼓の演奏など皆さんのおもてなしに力が湧きました」と話しました。

郷土の歴史をさぐる



講演を行う永山修一さん

8月11日、末吉総合センターで南峰文化研究会主催の「島津荘」についての講演会が開かれました。講師は、ラ・サール学園の永山修一さん。当日は、市内外から90名の方が参加しました。

「島津荘」とは中世の南九州にあった日本最大の荘園です。この荘園を開発したのは、平李基であり、その墓は末吉町の橋野地区に伝わっています。

「荘園」という理解が難しいテーマでしたが、様々な資料や写真を使った分かりやすい解説に、参加者は聞き入っていました。

曾於市子ども議会 開催



曾於市の将来を担う子どもたち

8月17日、「曾於市子ども議会」が開催され、市内小・中学校代表23人の子ども議員が、堂々と質問を投げかけました。

3回目になる本事業は、議会や市政に関心を持ってもらうことを目的に行っています。

子ども議員からは「ごみ問題への取り組みについて教えてほしい」「図書館の本を充実してほしい」「教室にクーラーを設置してほしい」などの要望が出されました。将来を担う子どもたちが、真剣に質問している姿はたのしく、今後の活躍が期待されます。

子ども会のリーダーを養成



手作り筏で川を下る参加者

市子ども会育成連絡協議会と市教育委員会は毎年、「曾於市子ども会イン・リーダー研修」を開催しています。

本研修は、子ども会のリーダーとして必要な知識と技術を習得し、リーダーとしての資質を高め、地域の子どもの活性化を図ることを目的に開催しています。

今回は2団体から4人の参加があり、イン・リーダーの役割などを学んだ後、ドラム缶を使った筏作りを行いました。今回の参加者が子ども会のリーダーとして活躍することを期待しています。



表彰を受けた徳永さん（中央）

日々の心がけは「安心・安全な給食」

8月29日、県学校給食センター連絡協議会永年勤続表彰を受けた徳永浩子さん（末吉町）が報告に來られました。

徳永さんは20年以上学校給食に携わり、その勤務成績が良好であることが評価されました。

谷口教育長は「異物混入防止対策など、日々の努力に感謝しています」とお礼を述べました。徳永さんは「衛生管理や体調管理に気を配っています。給食を楽しむにしている子どもたちのために、これからも安心・安全な給食を提供していきたいです」と話しました。



レクリエーションで交流を深める参加者

イングリッシュキャンプを開催

8月18日から20日にかけて、「曾於市イングリッシュキャンプ」が大隅青少年自然の家で行われました。

市内の中学生22人が参加。アメリカの学生8人と交流を深めました。この事業は国際社会に適応できる人材を育成するために今年度初めて開催されました。

参加者は「実際に外国人と交流するのは初めてだったけど、とても楽しく英語を学ぶことができた。また来年も参加したいです」と話しました。

曾於市へようこそ！ 地域おこし協力隊 平澤津あやさん

氏名：平澤津 あや
出身地：埼玉県狭山市
勤務先：そお文化村（社会教育課）



9月からそお文化村で働いています平澤津あやです。
名前をみてお分かりのように、父が曾於市出身です！

南之郷の美味しいお米で育ち、小さな頃から夏は鹿児島！！と決まっていた。曾於市の空気、水、野菜、肉、自然、そして人の温かさが大好きで、この良さを守り、また外に発信していけたらと思い地域おこしに応募しました。

普段は文化村（総合センター内）に居ますので皆さんと顔を合わせることも多いと思います。

小さいころから曾於市の大自然と遊んできましたが、まだまだ知らないことだらけなので皆さんに聞きながら、より魅力的な催しを目指し盛り上げていきたいと思っていますのでよろしくお願いします！



9月1日、新たに地域おこし協力隊の一員となった平澤津あやさんに委嘱状を交付しました。

現在、地域おこし協力隊の隊員は5名。それぞれの隊員が地域おこしのために尽力しています。

平澤津さんは、自主文化事業の運営を手伝いながら、新たなイベントなどを企画・運営していきます。